学校番号	T3009

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	2	年次	3
使用教科書	情報Ⅰ（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒1人１台端末を活用し、これからの社会に必要な情報活用能力を高めることを目標とします。身近なことを題材に、自分たちで課題を発見し、生徒1人１台端末を活用し、それらを解決することを通じて、情報活用能力を高めながら、情報モラルや情報リテラシーなどの社会性を身に付けていきます。
　コンピューターに苦手意識をもっている人でも楽しめるように、アプリやゲームを活用しながら、学べるように工夫します。

２　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けていること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第１章　情報社会の問題解決	第１節　情報の特性 第２節　メディアの特性 第４節　法の重要性 第６節　情報社会と情報セキュリティ 第７節　情報技術の発展と社会の変化	a:情報の特性や法の重要性、情報社会の変化について理解している。 b:メディアが発達したことにより、便利になったことについて考えることができる。 b:他者や自分の個人情報やプライバシーに配慮して情報発信できる。 c:情報の特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切に効果的に活用しようとしている。 c:情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。	ワークシート	話し合い 発表 ワークシート	行動観察 振り返りシート
	第２章　コミュニケーションと情報デザイン	第１節　メディアとコミュニケーション 第２節　情報のデジタル化 第３節　情報デザイン	a:コミュニケーションの手段の発達について理解している。 a:アナログとデジタルの違いについて理解している。 a:デザインの要件に必要な事項を理解している。 b:インターネットの特性を踏まえ、情報発信時に誹謗中傷や人権に配慮できているか判断できる。 b:情報の信憑性を判断し、内容の正しさの見極めができる。 c:情報デザインの力で問題解決に取り組もうとしている。 c:アナログとデジタルのデータを扱う身近なものを積極的に探し、理解を深めようとしている。	ワークシート	話し合い 発表 ワークシート	行動観察 振り返りシート
後期	第３章　コンピュータとプログラミング	第１節　コンピュータのしくみ 第２節　アルゴリズムとプログラム 第３節　モデル化とシミュレーション	a:コンピュータの構成要素やデータの制御、データの流れを理解している。 a:プログラミングによってコンピュータを活用する技能を身につけている。 b:コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れを表現し、説明することができる。 b:簡単な事例について、コンピュータに処理させる手順を文章化できる。 c:身のまわりにあるコンピュータで処理できるような事例を自ら考え、理解を深めようとしている。 c:シミュレーションの結果をもとに試行錯誤しながら粘り強く評価し改善しようとしている。	ワークシート	話し合い 発表 ワークシート	行動観察 振り返りシート

後期	第４章　情報通信ネットワークとデータ活	第１節　情報通信ネットワークのしくみ 第２節　情報システムとデータベース 第３節　データの活用	a:情報通信ネットワークを構成する要素とその役割を理解している。 a:問題解決のための手段に応じた表現をする技能を身につけている。 b:各情報システムから得られる情報について調査し、どのような分野に応用されるか考えることができる。 b:表計算ソフトウェアを利用して数値データを分析・表現することができる。 c:情報の科学的な見方・考え方を働かせて、情報通信ネットワークのしくみを理解しようとしている。 c:現状活用している情報システムを知ることで、普段気づいていない情報システムについても主体的に調べようとしている。	ワークシート	話し合い 発表 ワークシート	行動観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度